

[44] radix : 九州大学全学共通教育広報

<https://hdl.handle.net/2324/20409>

出版情報 : radix. 44, 2006-03-31. 九州大学教養部大学教育研究センター
バージョン :
権利関係 :

The image features a vibrant red background with a faint, repeating pattern of interlocking circles. In the upper right corner, there is a white, fluffy cloud. Centered in the middle of the frame is the word "Radix" written in a white, handwritten-style font. In the bottom left corner, a hand wearing a black sleeve and a yellow glove is shown pointing its index finger towards the word "Radix".

Radix

九大を使いこなそう

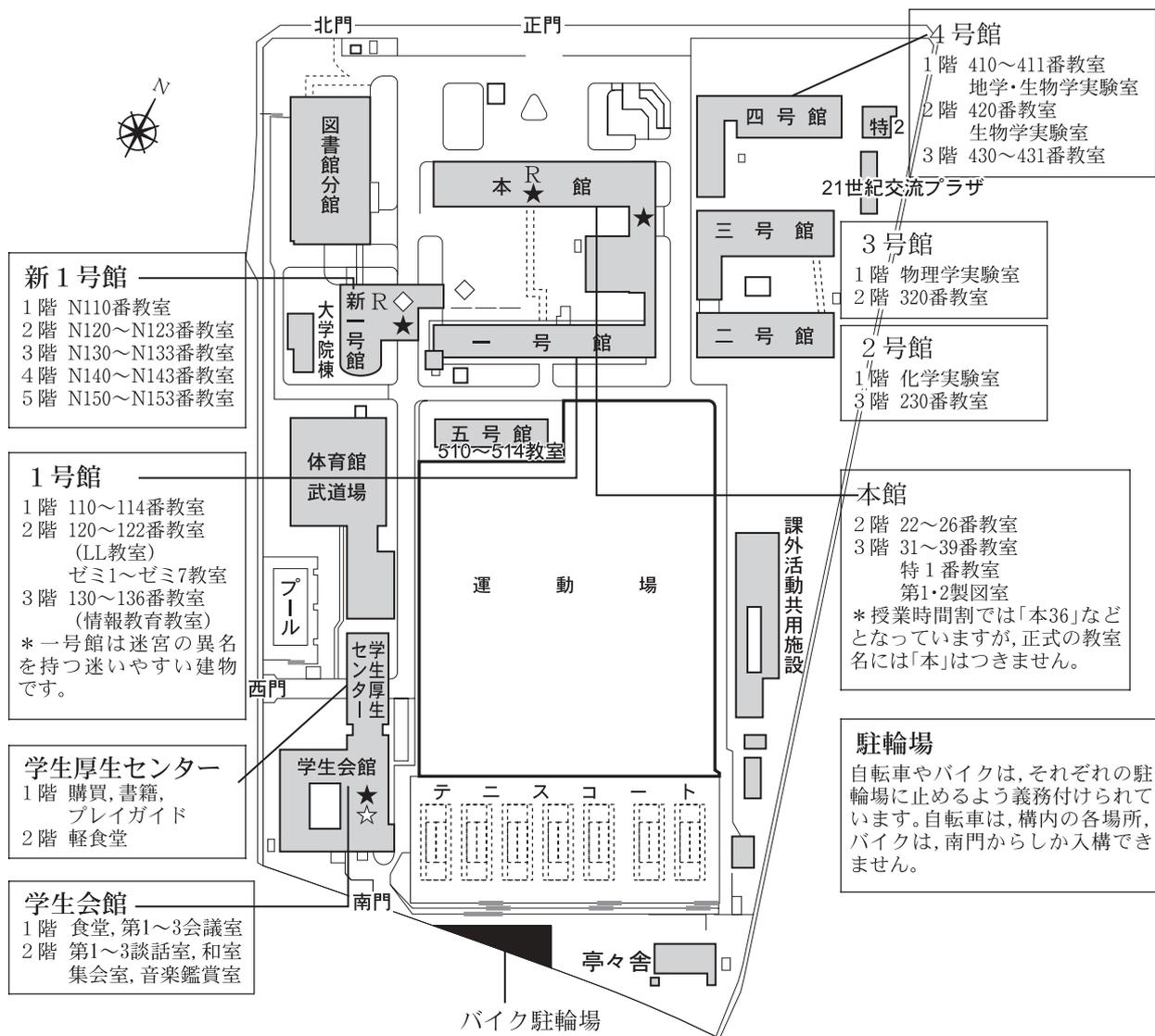
初心者編!!～これだけは読んでおこう～

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。受験の重荷からもすっかり解放され、これから始まる大学生活に向けて様々な希望を抱いていると思いますが、大学生活を過ごすということは、これまで体験してきた高校生活とはずいぶん違い、自主的に動くことが重要になってきます。授業の登録、試験時間割の受取りをはじめ、高校生活では先生たちがやってくれていたことを自分で手続きして実施していかなければなりません。

そこで radix を読んでいるあなたにだけ特別に、九大を賢く使いこなす方法を伝授いたします！ ここで紹介するスキルをふんだんに利用して、大学生活をおおいに楽しんでください！

① 六本松キャンパスの施設・建物をマスターしよう！

この地図があれば、最初の講義のときに「あれ、教室の場所はどこかな？」という事態が起きても大丈夫！教室の場所を尋ねられても胸を張ってこたえられることでしょう！



... 公用掲示板 ... 電子掲示板(六本松情報) ... 電子掲示板(箱崎・病院・大橋・伊都地区情報) R...radix スタンド

お世話になることが多い本館1階

六本松地区で修学する間は、六本松地区で事務手続きを行います。各種手続きや相談など、日常的にも困ったときにも本館1階にお世話になる機会が多いはず。この手続き・相談はどこですればいいのかな?ということを感じたときのために把握しておきましょう。

詳しい内容は、「学生案内」「全学教育科目履修要項」「全学教育科目履修の手引き」など、入学と同時に大量に渡された冊子の山の中から、これらの特に重要な冊子を掘り出して、確かめてください。

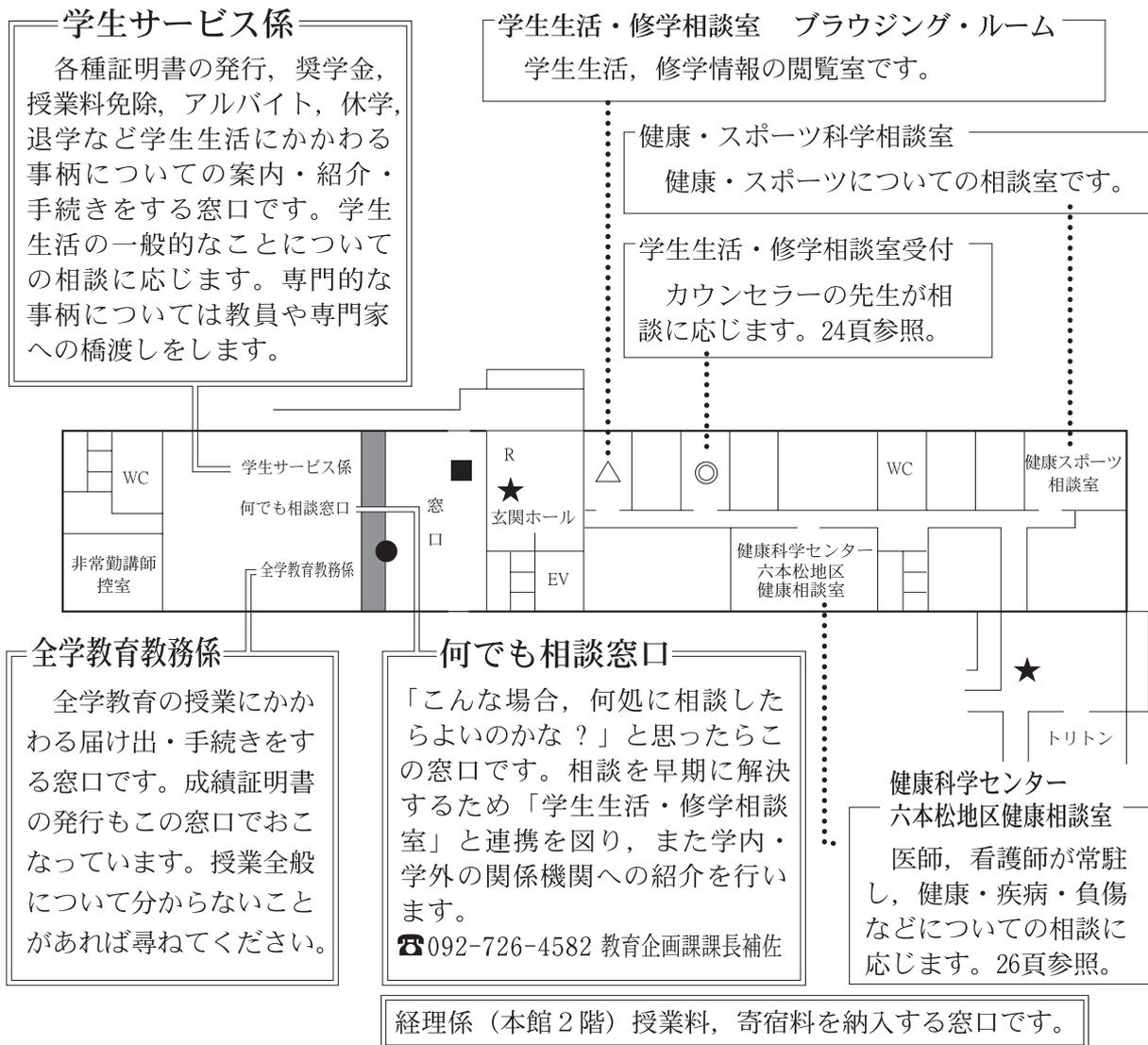
なお、各種窓口の受付時間

全学教育教務係、学生サービス係 — 8:30~17:15

課外活動係 — 8:30~17:15

経 理 係 — 9:00~17:00

本館1階見取り図



...電子掲示板(六本松情報) ...意見・要望ボックス R...radix スタンド ...在学証明・学割自動発行機

“九大を使いこなそう”は川口匡子(21世紀プログラム卒業生)とその仲間達が担当した03年度版を編集委員会が改訂

2 頁の地図を見れば、すぐ気付くかと思いますが、六本松地区の多くの教室の呼称には約束事があります。本館にある教室以外は、3桁の呼び名で呼ばれていますが、1番目の数字が教室の存在する建物、2番目の数字が階を表します。この2桁が解読できれば基本的には迷わないはず！ ちなみに、Nは新1号館の略です。

例えば 112番教室なら「1」号館、「1」階、「2」番目の教室です。

*ただし、特1番教室、特2番教室、ゼミ1～7番教室、実験室、製図室は例外です。

② 情報のキャッチ&発信

公用掲示板 ()

2ページの地図上で示してある掲示板です。

授業、試験、奨学金、留学、課外活動など、学生生活にかかわる詳しい情報が掲示されます。学科や教員からの情報、呼び出しなども掲示されます。

注意！ 掲示板をチェックしないと……

受講するクラス：授業は全て自由に取れるというわけではなく、クラス指定やクラス振り分け、受講登録があります。

教科書・教室：教科書以外に、器具や指定レポート用紙が必要な場合があります。

掲示板の情報を見落とすと、授業にスムーズに参加できないかもしれません。

掲示板のチェックは、1日1回を基本にしてください。

電子掲示板 (六本松情報 箱崎・病院・大橋・伊都地区情報)

同じく示してある掲示板です。休講、補講、教室変更など授業に関する一般情報、事務からの呼び出しなどが掲示されます。毎日更新。

電子掲示板は、インターネットからも閲覧可です。アドレスは、

<http://hesvr.rche.kyushu-u.ac.jp/>



情報のチェックはこまめに!!

クラス掲示板

本館と1号館の渡り廊下に設置されています。

クラス内での情報伝達や連絡に自由に使用できます。

学生専用掲示板

学生厚生センター下の通路と、体育館前のグラウンド沿いに設置されています。サークルの発表会や学内の案内など、自由に掲示できます。(この場所以外への掲示は許可されていません。)

九州大学六本松地区ホームページアドレス

アドレス <http://www.rc.kyushu-u.ac.jp/>

「シラバス(授業計画)」の最新版がチェックできません。授業によっては、「クラス掲示板」が開設される場合があります、先生への質問、友達へのメッセージに利用できます。

サークルや、寮のリンクも充実しているので、一度は訪れてみてください。



シラバスや、事務連絡など覗くべき情報は盛りたくさん。「お気に入り」に登録しておきましょう!

radix (九州大学全学教育広報) (R)

全学教育に関する情報を掲載しています。学生・留学生・先輩の手記や、メッセージ、授業や留学に関する記事など。常に多岐にわたる九大の使い方が得られるはず。本館玄関、新1号館1階のスタンドをマメにチェックしてみてください。

全学教育についての「意見・要望」BOX ()

六本松地区の授業、窓口、施設など勉学と生活に関わることすべてのことについて、意見、要望、訴えがあれば、この「意見・要望」ボックスに投函してみてください。署名があれば必ず対応について返答します。全学教育教務係カウンター及び六本松分館附属図書館に設置してあります。

応用編～さらにこんな使い方が～

これまで初心者編で、九大の使い方の基本を説いてきましたが、さらに、授業料分は骨の髄まで利用してやる！という心意気があるならば、こんな使い方您也可以。

サークルやコンパなどに

九大では、無料でサークルの練習場所、合宿所やコンパの会場が調達できます。

これらの施設は、事前に申し込んで使用許可を取ることによって利用できます。

九大生の特権ですので、大いに利用いたしましょう！

普通教室のグループ利用

特別（グループ）利用申し込みは、10日前から前日の午前中までです。

学生会館のグループ利用

特別（グループ）利用申し込みは、4週間前から前日の午前中までです。

亭々舎

クラス、グループの読書会や懇談会場として利用できます。

申し込みは利用日の1ヶ月前から3日前までです。

体育館、グラウンド、テニスコート

これらの施設を自由に利用できる時間帯があり、道具の貸出も行っています。

学外の研修施設

九大生であれば、学外にある格安の合宿施設も利用することができます。

九大山の家（大分県玖珠郡九重町筋湯）

九州大学の学生・教職員のゼミや合宿、登山の基地としてどうぞ。

九重共同研修所（九大山の家の横）

九州地区の国立大学の学生・教職員の研修施設です。山の家に宿泊した際に併せて利用できます。

島原共同研修センター（島原市郊外）

九重研修所と同様九州大学の学生・教職員のゼミや合宿に利用できます。

自由に使える場所

大学生は高校と違い、ホームルームが無い流浪の民です。そんな大学生が空き時間や、休み時間を過ごすための自由に使える場所をご紹介します。

図書館

学生証が入館証を兼ねています。入館の際には、入館ゲートにバーコードを認識させてください。

図書館の本を無断で持ち出すと、万引き防止装置(?)が警報を発するので、注意してください。

開館時間：月曜～金曜 授業期間 9:00～20:00

試験期間 9:00～22:00

夏休み等 9:00～17:00

土曜・日曜・祝日 10:00～17:00

休館日：8月中旬の3日間、年末年始等

*詳しくは開館スケジュール（図書館で配布もしくはホームページ）をチェックしてください。

図書館のホームページ：<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/libinf/ropponmatsu/>



自習室も充実！これで集中して勉強できることでしょう！！

六本松LL／CALL教室

LL／CALL教室及び併設のLL準備室には、皆さんが自習するのに役立つ機材や教材を豊富に取り揃えています。語学のスキルアップを目指す方はもちろん、外国語や異文化に興味のある方は、どうぞお気軽にLL教室へ足をお運びください。全学的に導入されている英語教材「ネットアカデミー」や各種のインターネット教材、豊富なDVD／ビデオ資料等が利用できます。利用可能時間・利用方法等の詳細は教室の掲示でご確認ください。

【場所】六本松キャンパス1号館東側(120, 121, 122番教室)

【問合せ先】LL準備室 TEL&FAX：092-726-4703 (内線4703) E-mail: call@flc.kyushu-u.ac.jp

学生会館（食堂，談話室），軽食堂，トリトン食堂は，営業の終了時間まで。

学生会館内にある談話室のうち，第1および第3談話室は16時まで，第2談話室は21時まで自由に利用できます。

情報教育（パソコン）教室

平日は，講義に使用されていない時間帯は20時30分まで利用できます。休暇期間中も一部期間を除いて開いています。



施設の利用申し込み手続きは，この表を参考に！

種 別	手続先係名等	必要書類・手続期間等	注 意 事 項 等
教室使用願	課外活動 共用施設窓口	使用日の10日前～前日の午前中	
亭々舎使用願		使用日の1ヵ月前～3日前	
学生会館使用願		学内者のみの使用 4週間前～前日の午前中 学外者を含む使用 4週間前～1週間前	
体育施設一般使用	体育館窓口	一般使用の時間帯は窓口に掲示	土曜日の体育施設使用は課外活動 共用施設窓口で要予約
運動用具短期貸出し		学生証と引き換え(土曜日を除く)	体育館等での一時使用
登山用具貸出し		学生証	1ヵ月前から予約可
九重山の家利用願	課外活動 共用施設窓口	利用日の2ヵ月前～15日前	1年前から予約可
九重共同研修所予約 同上利用申し込み		1年前～2ヵ月前 2ヵ月前～15日前(要予約)	5人以上の団体であること。
島原共同研修センター 予約・申し込み			
松原寮・貝塚寮・井尻寮 入寮申し込み	六本松地区 学生サービス係	7月，翌年2月	田島寮に入寮中の学生は，田島寮 事務室で入寮の申し込みを行って ください。

六本松地区事務窓口案内

六本松地区で修学する1年半（医・歯・薬・芸術工学部は1年）の間、皆さんは六本松地区にある全学教育事務室で事務手続きを行います。詳しい内容は、配付済みの「学生案内」「全学教育科目履修要項」「全学教育科目履修の手引き」などで確かめてください。下の事務手続き一覧を参照にするほか、分からないところは各係の窓口で尋ねてください。

各係の窓口受付時間 全学教育教務係，学生サービス係，課外活動係 — 8：30～17：15

経 理 係 ————— 9：00～17：00

事 務 手 続 一 覧

種 別	手続先係名等	必要書類・手続期間等	注 意 事 項 等
聴 講 届 提 出	各授業担当教員	各学期授業開始第1週目	本年度前期は4月11日～4月17日 本年度後期は10月2日～10月6日 受講制限をすることがあります。
履 修 ・ 受 験 届 提 出	全学教育教務係	各学期授業開始第2週目	本年度前期は4月18日～4月24日 本年度後期は10月11日～10月17日
履 修 ・ 受 験 届 確 認		5月上旬，10月下旬	
追 試 験 願		出願理由を証明する書類 原則として当該試験から3日以内	病気の場合は医師の診断書，忌引 の場合は葬儀のはがきなど。
成 績 証 明 書		学生証 3日後に交付 英文の場合は7日後に交付	
日 本 学 生 支 援 機 構 奨 学 金 奨 学 生 募 集	学生サービス係	4月中旬（1，2年生）	インターネットを利用して手続き を行います。 詳しくは公用掲示板をご覧ください。
各 種 奨 学 金 募 集		4～5月頃に集中	地方自治体の奨学金はそれぞれの教育 委員会に問い合わせてください。
授 業 料 免 除 願 書 交 付		6月下旬（平成18年度後期分） 1月下旬（平成19年度前期分）	詳しくは公用掲示板をご覧ください。
学生教育研究災害保険の加入受付		4月，10月	
ア ル バ イ ト の 登 録 ア ル バ イ ト の 紹 介		4月上旬 常時	窓口の紹介簿で各自選択。
通 学 証 明 書 証 割 証 明 書 在 学 証 明 書 証 割 証 明 書 学 生 証 再 交 付		学生証 即日交付 学生証 即日交付 学生証 即日交付 学生証再発行願 再発行願提出後1週間程度	学割証，在学証明書については， 自動発行機により発行。 学生証を紛失，汚損したら必ず再 交付を受けてください。
定 期 試 験 受 験 証 明		当該日ごとに交付	定期試験に学生証を忘れた場合。
現 住 所 変 更 届 保 籍 地 変 更 届 本 籍 地 変 更 届 改 姓 ・ 改 名 届		学生証	現住所など変更したら直ちに届け てください。
休 復 学 願 退 学 学 願		保証人が連署した願書 クラス指導教員の署名・押印 病気の場合は診断書添付，経済的理 由の場合は保証人の所得証明書添付	
海 外 渡 航 届		保証人承諾書，旅行計画書	
自 動 車 入 構 許 可 証	学生証，免許証，車検証	特別な事情で自動車通学が必要と 認められる場合に限りです。サー クル部活動など課外活動に関係す る場合は，課外活動係へ申し出る こと。	
盗 難 届		警察への届け出も必要です。	

手続きの期間は変更されることがあるので，**公用掲示板**や**電子掲示板**の掲示をよく見てください。

願，届出，申込等の手続用紙は，担当係の窓口で用意されているので，必要なときには申し出てください。

ケンブリッジ・ミュンヘンで外国語を学ぼう

九州大学では以下のような語学研修旅行があります。興味が湧いたらいざ説明会へ！

	研修先	期間	人数	研修内容	説明会その他
英語研修	ケンブリッジ大学 ペンブローカ カレッジ	8月上旬から9月 初めの4週間弱	30名程度	少人数クラスでの英語集中コース、 英国文化の専門科目、晩餐会、様々 なオプション活動。週末は自由旅行。 8ヶ月にわたる英語・英国文化・旅 行準備等の事前講習を含む。	平成18年夏分は募集選考済。19年夏 分は5～11月募集。詳細は下記で。 http://www.rc.kyushu-u.ac.jp/~ yubun/index3cambridge.htm
ドイツ語研修	ミュンヘン大学	2月下旬から4週間	他大学の 学生も含 めて50名 程度	最初の2週間の午前中はミュンヘン 大学での少人数集中授業、午後は 街での実地研修。次の1週間は小都 市と小さな村に分かれてホームステ イ。最後の1週間は自由行動期間。 (年によっては自由行動期間がホー ムステイより先。)	説明書は4月下旬から配付。説明会 は5月中旬頃。9月の初め頃に選抜 試験があり、合格者には10月から合 宿を含む毎月1回の講習会、月に2 ～3回の少人数勉強会等。

ケンブリッジ大学英語研修

【生涯一度の機会】

毎年夏にケンブリッジ大学英語研修が実施されています。世界最高峰ケンブリッジ大学への正規留学は極めて難関、本研修はケンブリッジ大学で学ぶ恐らくは生涯でただ一度の機会です。8月という時期もあり費用は高いのですが、それだけの価値があります。毎年参加者は万感の想いを胸に喜びとやり遂げた涙の中に帰国を迎えます。行ってみるまでわからない生涯最高の経験との声が寄せられています。

【研修先の紹介】

研修先であるペンブローカカレッジは1347年創立、30以上あるカレッジの中で3番目に古く、英国最年少の首相小ピット、詩人スペンサー、経済学のケインズ等で有名で、定期試験で全カレッジ中トップになったこともある優秀なカレッジです。

【研修の内容】

キャンパスにある本物の学寮個室に宿泊、同カレッジが責任運営する九大生専用プログラムで学び、夜はオプションの活動もあり、週末は自由に国内を旅行できます。修了書も発行されます。九大生が周囲にいることはマイナスではありません。それどころか、1ヶ月悦びをわかちあう志の高い仲間との接触は一生の財産になり、生涯の友人関係を築きます。

【研修の特長】

- ・ケンブリッジ大学の責任運営
- ・講義担当は原則としてケ大ゆかりの教員

- ・壮麗なキャンパス内の学寮に宿泊
- ・英語科目の他、本格的講義科目も履修
- ・正装での晩餐会を複数回体験
- ・豊富なオプション活動
- ・九大生専用プログラム
- ・専属の現地世話役（現地学生）が数名
- ・金曜午後～日曜の長い週末自由時間
- ・ケンブリッジの街の英国随一の美しさ
- ・8ヶ月にわたる語学、文化、旅行の事前指導

【申込にあたって】

今夏分は選考済みです。来夏分の詳細は上記の表内にURLが示されたサイトをご覧ください。5～11月に面接、11月末に合格発表、12月から事前講習に入ります。参加者の英語力はまちまちですのであまり恐れる必要はありません。

鈴木 右文（言語文化研究院）



修了式前のレセプション風景



ケンブリッジ留学 について

医学部3年 しら いし 白石 わたる 渉

皆さんご存知でしたか？ 九大にはケンブリッジ留学プログラムというのがあります。今回私はそのプログラムの宣伝文を頼まれたので、この留学について少々説明させていただきますね。

毎年夏、飽きもせずイギリスへ旅立つ世話教員の鈴木右文先生に連れられ、昨年わたしは歴史と科学の街ケンブリッジに行ってきました。

その時の感動といったらなかったですね。どんな言葉でも語りつくせないほどのすばらしい街並みでした。ケンブリッジの学生もやはり世界に名だたる大学の学生らしく、なにか違います。有能っていうのはこういうのをいうんだな、と。街並みだけじゃなく、人間も一味違い、この出会いはプライスレスだと思いました。

もっとも当初私がこのプログラムに参加した理由は、世界のケンブリッジ大学に行けるということだけでした。よく英会話学校とかで広告してる「ケンブリッジにある」大学じゃなく「本物の」ケンブリッジ大学に留学して、そのネームバリューにあやかろう、と。しかし、そんなくだらないことはぶっ飛んでしまうくらいの経験をさせてもらいました。本当に。

確かに英語を話せるようになりたいだけなら一

人で留学したほうが安いし、ホームステイでもしたほうがいい。でも世界クラスの大学生と対等な立場で付き合い、その生活を体験する経験はこのプログラム以外では少々無理ではないでしょうか。

若いうちに世界を見ておくのはいいことだと思います。絶対。それにせっかく九大生なんだから、行かないと損です。他の大学ではケンブリッジ大学に留学できるところなんてそうそうないですよ。そこらへんは流石に旧七帝大ってことです。

詳しくは、あなたがその目で確認したほうがいいでしょう。百聞は一見にしかずといえますから。自分と違うものを見るっていうのは自分をより深く知ることにもなりますからね。お勧めですよ。



美しき「ため息橋」

ワールドカップだ！ ドイツだ！ 研修旅行だ！

春休みの1ヶ月間、日本を飛び出してドイツでドイツ語を使ってみませんか？ 今年はドイツ・ワールドカップの年。ミュンヘンをはじめ、ドイツ各地はサッカー一色です。しかしドイツはサッカーだけではない。美しい街並みを誇る環境先進国、音楽・文学・哲学のふるさと、過去にファシズムが席卷し、日本と同じく奇跡的復興を遂げた敗戦国、そしてソーセージとビールの国…。ドイツには尽きせぬ魅力があります。

この研修旅行は今年で23年目を迎えた、日本における「外国語研修旅行」の草分けで、全国にその名が知られています。研修の柱は3本。まずミュンヘン大学で2週間のドイツ語集中講座を受けます。完全少人数制のインテンシブ授業で、午後からは学生食堂や街

中でドイツ人にインタビューをするといった宿題も出ます。次にミュンヘン近郊の小さな村と、シュトゥットガルト近郊の小都市に分かれて1週間のホームステイ。単なる「お客さん」ではなく、料理も子守りもしてもらいます。ただの語学研修では決して得られない「ウルルン体験」があなたを待っています。3番目に1週間の自由行動。自分の研修テーマを追って、ドイツ、スイス、オーストリアに飛び出します。原則は一人旅。ドイツ語でサバイバルです。

この研修には九大生以外も参加します。大学・学年・専攻の垣根を越えて、「生涯の友」を得ることができるのも、この旅行の大きな魅力です（「生涯の伴侶」に巡りあった学生も多数！）。参加人数は50名程度、

世界・日本

九大では4月後半から「説明書」を配布、5月末頃「説明会」があります。ただし9月の初め頃に「選抜試験」があり、これに合格しないと参加資格が得られません。試験に合格しても月1回の講習会や、ほぼ隔週で行われる勉強会があります。日本とドイツでの学習時間を合わせるとなんと3500分以上。これは単に授業時間であり、自宅学習やホームステイ中の会話、また夢に出てくる(うなされる?)ドイツ語を合わせると、ドイツ語を何年も勉強するような効果が必ず得られます。

費用は35万円プラスお小遣い程度でしょうか。詳しくはドイツ語の津村教員、田畑教員あるいは福元まで。
福元 圭太(言語文化研究院)



バロック教会で日本の歌を合唱



新しい世界

法学部3年 いずも 出雲 わたる 渉

皆さんは、大学で第二外国語を勉強しなければならないことについてどう思いますか? 「めんどくさい」、「英語が出来れば必要ないやん」...そんな風に考えている方が多いでしょう。実際そうかも知れません。英語さえ出来れば何とかなっちゃいます。でも、それなら、新しい外国語を学ぶことにはどんな意味があるのでしょうか?

2005年の春、九州各地の大学から集まった私たち約50人の学生は、約一ヶ月間、ドイツに行きました。その年は地元の人曰く「20年ぶり」の長い冬らしく、もう3月なのに一面の白銀世界。寒かったです。ミュンヘンでの2週間に渡る語学研修、歴史と伝統の街での特訓で、最初は過去形すらロクに使えなかった自分のドイツ語力がグングン伸びていくのを実感しました。一週間のホームステイ、伸びたとはいえまだまだひどい僕のドイツ語を懸命に聞いてゆっくり話しかけてくれるお父さんとお母さん、そんな配慮を全くしないマシンガントークの妹、サッカーが大好きな弟...。短い間でしたが、ドイツに本当の家族が出来たような感覚でした。最後は一週間の自主研修旅行です。古くからの学生街ハイデルベルク、ゲーテの故郷フランクフルト、大聖堂のケルン、躍動の現代都市ベルリン...地方色が豊かなドイツを体感しました。

ドイツの人たちは親切です、駅や道端で困っていると、何か手伝えることはないかと英語で尋ねてくれます。そんなとき、ドイツ語でこちらから話すと、彼らは嬉しそうな顔でこう答えます。「ドイツ語を話すの?」。長い歴史を持ち、日本にも大きな影響を与えてきた遠くて近い国、ドイツ。おいしいケーキやワインナーを食べられ、ビール好きにはたまらない国、ドイツ。20世紀、ナチスという最悪の過ちを犯してしまったドイツ。ドイツは、色んな顔を私たちに見せてくれます。そんなとき、そこに住んでいる人たちが話している言葉でコミュニケーションが取れるならば、そこで得られるものがより大きな、そしてより豊かなものになっていくかも知れません。上手い、下手も確かに重要ですが、彼らの言葉で話そうとするその熱意さえあれば、相手は分かってくれます。言葉という最も基本的な文化を知ることによって広がる世界...僕が参加したこの「ドイツ研修旅行」は、そんな体験をする貴重なきっかけを与えてくれます。



ドイツの妹と弟



英語は世界への扉

すず き ゆう ぶん
鈴 木 右 文

1. 大学で何か成し遂げたい自分

大学に入学して何かいいことが待っているかという
と、それは自分の働きかけ次第です。授業とアルバイトと友人と遊ぶ繰り返しの生活から抜け出したいという声をよく聞きますが、まず自分から行動すること。交換留学で自分を磨く喜びにむせるなんて粋ですよ。そのひとつの方法として英語を選択した場合の助言を差し上げましょう。以下に述べる努力もしないで英会話学校に行けば何とかなるだろうは甘いですよ。

2. 英語は時間がかかる

実用レベルに達するには大学入学後英語を直接使って訓練する時間が授業の5倍必要と言われており、毎日欠かさず1時間の計算です。成果を急がずじっくり取り組みましょう。自分で学習計画を立てる必要があります。

3. 新時代の英語力

昨年度、九大1年生全員を対象に国際英語検定試験が実施されました。実用レベルにはほど遠い成績で、問題を制限時間内にこなせません。中高で培った力を抜本的に伸ばし、速度もつける必要があります。また今後この種の試験では作文や発話も入ってきますので対話能力も必要です。

4. 大学院でも必要

九大は大学院進学者が多く、特に理系では学部生の半数以上が進学しますが、大抵の大学院入試には英語がありますし、院生が国際学会で研究発表することも多く、英語は避けて通れません。3, 4年次の英語科目の履修がない期間の対策が必要です。

5. 何に取り組むか

英語について何でも学習し訓練して欲しく、皆さんに特に足りないのは単語とリスニングの力ですが、盲点に限ってアドバイスをしましょう。

1) 単語

単語帳にとらめっこするだけでなく、CD付の単語集を用意して通学途中で聴くとよいです。単語は体育系部活動で言えば筋力トレーニング。絶対必要です。

2) 英語産出能力

一日1回就寝時ふとんの中で任意のテーマについて

1分スピーチしてみましょう。1分続けば大したもの。翌朝これを5分で作文に起こします。これだけでずいぶん英語に慣れ力がつきます。

3) シャドウイング

教材の英語音声だけを聴いてコンマ何秒か遅れて発話していく訓練です。リピーティングとは違います。リスニングの力や英語のリズムが身に付きます。

6. 九大が提供するものを利用しよう

せっかく九大に在籍しているのですから、九大の提供するものを利用しましょう。

1) 言語文化基礎科目

第1外国語として英語を選択すると6~7単位分の英語科目を履修します。しっかり履修しましょう。

2) 言語文化自由選択科目

新入生が2年生以上になると言語文化研究院箱崎室で、希望者のみが受講する英語科目があります。

3) NetAcademy

リーディング、リスニング、技術系英作文等のオンライン学習システムです。

<http://gogaku.kyushu-u.ac.jp>

4) Listen to Me!

リスニングCD-ROMソフトを貸与します。本館6階2号鈴木右文研究室前へおいでください。

5) 海外英語研修

恐らく生涯でただ1度の世界最高峰ケンブリッジ大学で学ぶチャンスです。

<http://www.rc.kyushu-u.ac.jp/~yubun/index3cambridge.htm>

6) オンライン対話演習

私の担当する文字チャットによる演習授業を取ることがあったら頑張ってください。

7) 英語担当教員

専任教員は研究室に英語学習資料を持っていますから、随時英語学習について相談してください。

8) 英字新聞

附属図書館六本松分館に英字新聞があります。授業へ向かう前に読むと、世の中も知ることになり、一石二鳥です。アルカイダのスペルを知ったりできます。

(言語文化研究院)

世界・日本

海外派遣留学制度

海外派遣留学制度とは、学生交流協定を結んだ外国の大学に、授業料不徴収と単位互換を原則として、1年間留学する制度です。留学を希望する皆さん、留学に関心のある皆さん、是非挑戦してみてください。詳しい情報はホームページでみてください。(http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jpn/)

学生交流協定を結んでいる大学

国名	大学名	国名	大学名	国名	大学名
アメリカ	ワシントン大学	韓国	梨花女子大学校	フランス	ジョセフ・フルニエ大学
	ライス大学		延世大学校		ピエール・マンデス大学
	ミシガン大学		西江大学校		スタンダール大学
	ウイスコンシン大学メディソン校工学部		慶熙大学校		グルノーブル理工科大学
	デューク大学		ソウル大学校(ASEP対象校)		エコール ナショナル スーペリールテクニク アヴァンセ
	ペレア大学		浦項理工科大学校		エコール ノーマル スーペリール カシャン
	グローブシティ大学		慶北大学校		エコール スーペリール デレクトリシテ
	ケンヨン大学		済州大学校		エコール ポリテクニク
	ガウチャー大学		慶尚大学校		エクス・マルセイユ第1大学 (プロヴァンス大学)
	ジョージア大学		江原大学校		ポルドー第一大学
カナダ	トロント大学人文科学部	東亜大学校	ポルドー第二大学		
	クィーンズ大学人文科学部	成均館大学校	ポルドー第四大学		
メキシコ	メキシコ国立自治大学	東国大学校	ポルドー国立化学物理学院		
チリ	チリカトリック大学	高麗大学校	ポルドー国立電子情報科学学院		
	新彊師範大学	全南大学校	ポルドー建築景観学院		
中国	清華大学	タイ	マヒドン大学 (ASEP対象校)	ベルギー	レウヴェン・カトリック大学
	華南理工大学		チュラロンコン大学		ルーヴァン・カトリック大学
	浙江大学	タマサート大学 (ASEP対象校)	ドイツ	ルードリッヒ・マクシミリアン大学 (ミュンヘン大学)	
	上海交通大学	シンガポール大学		ミュンヘン工科大学	
	復旦大学(ASEP対象校)	シンガポールマネージメント大学		ホーエンハイム大学	
	香港大学 (ASEP対象校)	アテネオ・デ・マニラ大学		プリストル大学	
	香港中文大学	フィリピン	フィリピン大学	グラスゴー大学(School of Artを除く)	
	中国人民大学	インドネシア	ガジャマダ大学	マンチェスター大学	
	南京大学(ASEP対象校)	インド	インド工科大学マドラス校	ニューカッスル・アボン・タイン大学	
	北京航空航天大学	フランス	ストラスブールコンソーシアム(3校)	シェフィールド大学	
	西安交通大学		ルイ・パスツール大学	スウェーデン	
	台湾		マルク・ブロック大学	ウプサラ大学	
	台湾大学		ロバート・シュマン大学	オーストラリア	
	韓国	釜山大学校 (ASEP対象校)	グルノーブルコンソーシアム(4校)	オーストラリア	クィーンズランド大学
忠南大学校					

- (備考) 1 表中の大学は原則として入学料・検定料・授業料のいずれも不徴収だが、次の例外がある。
 の大学は授業料を徴収。(入学料、検定料は不徴収) の大学は大学院生の場合は検定料を徴収。(入学料、授業料は不徴収)
 2 の大学は英語による留学生用プログラムを有する。 3 の大学は英語のみを使用言語として留学可能。
 4 の大学は特定分野に限り英語のみを使用言語として留学可能。
 5 ASEP (九州大学アジア学生交流プログラム) については、次の HP を参照ください。
http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/_html/intlweb/html/opcia/asep/top.htm

JTW CLASS SCHEDULE FOR SEMESTER-2 (Apr. 3- Jul. 21, 2006)

13ページで紹介したJTW(JAPAN IN TODAY'S WORLD PROGRAM)の時間割など簡単に掲載しましたが、もっと詳しい情報は下記に掲載したWEBサイトを参照してください。(国際交流部留学生課留学生係 TEL642-2141)

	Tue	Wed	Thu	Fri
CLASS 2 10:00 ~ 12:00	Urban Psychology in Asia Prof. Minami	Japanese Politics Today Prof. Hachiya		Contemporary Japan and Popular Culture Prof. Nakamura
CLASS 3 13:00 ~ 14:30	Structural Reform of Japanese Economy Prof. Imai	Enculturation and Education in Japan Prof. Pollack	Linguistic Description of Japanese Prof. Okazaki	Cultural Evolution of Japan Prof. Pollack
CLASS 5 16:40 ~ 18:10		Growth and Fluctuations of the Japanese Economy Prof. Imai	Images of Death in Early Japanese Literature Prof. Pinnington	

Course descriptions and syllabi are available at the JTW website: <http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jtw/courses/courses.htm>

Course registration deadline: Monday, 17 April

受講するにあたり、原則として TOEFL530点以上の英語力を有することが条件である。



JTWはサプライズがいっぱい！

JTW(JAPAN IN TODAY'S WORLD PROGRAM)特別聴講学生

グオ
郭

ユン
韻

福岡に来て、そろそろ四ヶ月になります。もし今の気持ちを聞かれたら、「福岡での毎日は正に夏休みそのものだ」と大声で元気よく答えます。輝くまぶしい毎日。しかも、スリルと喜びで胸がいっぱい。ある漫画のせりふを思い出しました。「出会う、知る、発見する、冒険とスリル、自由と喜び」この文はぴったりと私の今の生活を描いています。もちろん光があれば、陰もありますが、それはあくまでも私の成長日記の中でなくてはならない一ページです。寂しさも辛さも喜びも全部大切な思い出として、貴重な宝のように心の中に保存します。

最初の二日間。本もテレビも何も持っていない私は、一人部屋で過ごす寂しさをたっぷり感じました。人類はもし突然テレビなどを奪われたら、生きていけるのかと私は疑問に思いました。三日目、やっとオリエンテーションを迎えました。そんなにたくさんの国の学生と会ったのは初めてなので、少し緊張気味の私。初対面の人にいい印象を残そうと思って、一生懸命に笑顔を見せて、話の種も必死に探していました。もともとこういうところがちょっと苦手だった私にとっては、挑戦の始まりでした。特に、にぎやかなパーティーには、最初はあまり慣れていなくて、ちょっと面食らってしまいました。中国ではパーティーといっても、みんなで食事をするぐらいのもので、本格的な西洋風なパーティーは初めて体験しました。一ヶ月訓練された結果、パーティー好きになりました。JTWではいつもサプライズがいっぱい。毎月のように、一人以外にみんなでごっそり会館のキッチンで集まって、お菓子とかケーキとかビールとかたくさん準備します。その例外の人がキッチンに入ったとたん、みんなで一斉に「ハッピーバースデー」を言います。それはもう伝統になっていますが、毎回やっぱり誕生日の人を驚かせます。JTWのチューターもすごい人間です。1月19日、私の誕生日の翌日、日本語の会話パートナーと学食で話しているところ、突然誰かが大声で誕生日の歌を歌い始めました。振り向いてみると、目の前に赤いリボンの飾られたイチゴケーキが魔法のように現れました。JTWのチューターからのサプライズに照れた私はし

ばらく何もいえなかったんです。もちろん、パーティーのほかに、JTWの見学も学生の中で大人気です。皆さん、秋にまぶしい光の中で稲刈りをしたことがありますか。お相撲さんと向かい合って話したことがありますか。留学生に日本文化を実感させるために、JTWでは普通の勉強だけではなくて、月に一回見学を行っています。それを通じて、初めて日本伝統文化を自分の目、耳、口で体験しました。

また、JTWの学生の姿はいろいろなクラブやサークルに現れています。私も九大のボランティアサークルに参加しました。その切っ掛けは百円ショップです。日本に来たばかりのころは、高い物価に痛感した私は百円ショップに行こうにも道が分からなくて困りました。その時、身を乗り出して三時間も買い物に付き合ってくれたのは九大のボランティアでした。この感謝や暖かい気持ちを多くの人に伝えようと思って、ボランティアを始めました。知的障害者の施設に行ってお祭りの準備したり、バーゲンで手伝ったり、障害のある子供と一緒に公園で遊んだりしました。彼らが人一倍頑張って生きてきた姿を見るたびに、自分も元気を出します。今まで一番大きな挑戦は魚加工のバイトです。私は好奇心が強く、なんでも一度経験してみたいタイプなので、冬休みに工場での魚のバイトに応募しました。それにまだ頭がちゃんと付いている魚も見なかったし、体力労働者とOLの違いにも興味を持っていました。それで体力限界への大挑戦を始めました。毎日九時間立ちっ放しで、その上に、手でずっとサーモンとかのでっかい魚の鱗を取っていたので、初めての日はドアを開けられないほど手が疲れました。辛くて泣きそうになったんですが、悔しくて、今の限界をもう一度チャレンジしてみようと思いました。バイト代をもらった時、自分に敬礼したかったほど、達成感が大きかったです。これからはどんな仕事でもやり遂げられる自信が付きました。

福岡に来て本当によかったです。毎日のよに自分のがびのび成長していることが感じられます。もっと伸びたい、もっと大きくなりたいと夏の若木のように祈っています。

サークル紹介



誇らかに 自由を守る

九州大学応援団 農学部 4年 ^{しの}篠 ^{はら}原 ^{ひろし}拓

応援とは

いきなりですが、あなたは今まで誰かを応援したことがありますか？ また、誰かに応援されたことがありますか？ おそらくこの答えにNOと答える人はいないでしょう。頑張っている仲間や、苦しんでいる人をみたときに、「頑張れ！」と応援したくなるのは人間として当然なことだと思います。私ども九州大学応援団は、そのような応援をすることを目的として作られた団体です。

歴史

私ども九州大学応援団は現在第41代となります。かつては団員不足のため、休部に追い込まれた時期もありましたが、様々な方からの支援により4年前より活動を再開し、現在に至っております。

活動内容

「礼儀徹底、約束貫徹、時間厳守」を団訓とし、現在、リーダー部5名、吹奏部5名の計10名で活動しております。

普段の応援では野球やアメリカンフットボール、ラグロス、駅伝など様々な応援に駆けつけ、選手たちがベストを尽くせるよう、そして何よりも九大の勝利を信じて精一杯の応援をしております。

また、7～9月にかけて開催される全国七大学総合体育大会では、七大学応援団・応援部合同演舞演奏会を開き、各大学の演舞を披露しております。この際には他大学応援団との交流もあり、全国に多くの友人を作るよい機会でもあります。

また、11月には九大祭においてステージを使っ



演舞会を開催しております。

今までを振り返って

今までで1番の思い出は、昨年九大が主管となつて行われた、「第44回全国七大学総合体育大会」(通称七大战)です。九大は過去5年連続最下位と低迷しておりましたが、この44回大会では地元の意地を見せ、見事総合優勝を勝ち取りました。私どももできる限り多くの大会に応援に行き、選手にエールを送りました。

この大会で応援団に成績がついたわけではありませんし、形に残るものとして何かを得たわけではありません。しかし、私は七大战総合優勝によって九大生としての誇りという、もっとも大切なものを得ました。

「誇らかに 自由を守る」これは学生歌「松原に」の一節ですが、ここで詠われている「誇り」こそ、私が応援団活動を通じて得た最高のものです。

そしてこれから

現在の団員数は10名と、まだまだ多いとは言えません。より活発な応援活動のためには、やはり多くの人が必要です。応援団という団体は、何か特別な能力などは必要ありません。体力に自身がない人でも吹奏部ならば十分に活躍できます。ぜひとも今年は多くの進学生を獲得し、一緒に九大を盛り上げて行きたいと考えています。

今年の夏は大阪の地で七大战が開催されます。九大の2連覇を目指して、大阪の地で私どもも「誇らかに」戦いたいと思います。

九大の更なる発展を願って……





さあフリーペーパーを作ろう!!

Kyudai Walker 編集部 理学部2年 ^{まし}増 ^{はら}原 ^{ひろ}裕 ^{ゆき}之

ブログや2ちゃんねるでは出来ないこと。

インターネットを活用すれば、ブログ、2ちゃんねる掲示板、mixiなど大多数の人に情報を知らせることができる。それらを使えば相手の声も聞くことができる。何か伝えたいだけならばそれでいいと思う。お金もかからない。しかしインターネットは情報を得ようと思う人しか見ない。そんな手段では僕らは満足できない。誰にでも気軽に情報提供できる手段。それが学内で配布するフリーペーパーだ。KyudaiWalkerというフリーペーパーは、九大内で歩いている人、食堂でご飯を食べようとする人、ちょっと手持ち無沙汰な人、これら全ての人に見る機会を与える。そこがネットとの違いである。情報を押し付けるのである。情報を得ようと思ってない人にも「ああ、同じ九大にそんな人もいるんだあ。そんな考えを持った人もいるんだ」と思ってもらいたい。さらにそれに触発されて行動を起こしてくれる人が1人でもいたならば、それだけで僕らが作った価値があるだろう。

コンセプトは『出会い』。

九大内にはいろんな人がいる。毎日を充実させてすごしている人。何かしようとは思いますが、何も行動を起こせない人。毎日がなんとなく過ぎていく人。どんな人であっても、KyudaiWalkerを読んでいろいろな考え方に会ってもらいたい。今まで知らなかった新しい考えに会えば、「自分もこんなこと、あんなことに挑戦してみよう」と思うだろう。その思いが何か行動するきっかけになるのだ。

まずは見てもらわねば!

せっかく頑張って記事を書いても読んでもらえなかったら悔しい。だから、読者に読みたいと思わせるうまい見出しを考える。それはフリーペーパーの大切なところのひとつだと思う。すこし前、あるCMを見た。雨にうたれるおじさんが「メンバーが、足りません……メンバーが、足りません……あなたの力が必要です」と、こちらを見つめて訴えている。これは骨髓バンクの登録者数を促すCMであったが、非常に僕は惹きつけられた。突然、メンバーが足りません、と言われる

と、何が!?とってしまう。その「惹きつけ」がフリーペーパーにも必要だ。だからこの文章もそのことを考えて書いたつもりだ。パッと見て、くいついてもらうためにタイトルや見出し、写真や文量を考える。そんな作業も僕は好きだ。

雑誌を作る!

フリーペーパーを作る。僕らはそんなサークルだ。年に3、4回出している。1回に2~4ヶ月かけて作り、3000部発行。九大の各キャンパス(箱崎、六本松、馬出、大橋)で配る。完成までの道のりは、長い。まず各自が企画を提出する。全員で検討し、どの企画を採用するか決める。ここまでに2、3週間。その後、取材対象者にアポを取り、取材をする。そして記事を書く。この期間も2週間くらい。記事の校正をする。1つの副詞について、たった一つの助詞について一晩話し合う。それももちろん全員で行なう。最後にデザイナーが誌面のデザインを作る。すべて自分たちだけの手で作り上げる。完成したときの喜びはたまらない。

僕らはこの春から新体制に入った。学生だ。失敗は怖くない。やれるだけのことをやってやる。

出会いの数だけKyudaiWalker。

現在、部員は15名。君も編集部に加わらないか。

KyudaiWalker 編集部

HP <http://www.geocities.jp/kyudaiwalker/>
連絡先 kyudaiwalker@hotmail.com



福岡県国際学生会議を終えて

21世紀プログラム3年 やま した こと え
山 下 琴 恵

21世紀プログラム3年 **ダラ・プスピアルディニ**

21世紀プログラム3年 お だわら きょう こ
小 俵 京 子

皆さんは「学生会議」と聞いてどのようなことを思い浮かべますか？ 私達は昨年(2005)の12月17日から18日にかけて、日本学生機構や福岡県留学生会、九州国立博物館主催のもと、「第一回福岡県国際学生会議」の実行委員として企画・運営を行いました。国籍の異なる学生が集まり特定のテーマについて知識や情報を提供、共有することで地域社会に還元できるような活動を行える学生会議を目標に、数ヶ月前から何度もミーティングを重ね企画しました。当日は「地域文化の継承」「フェアトレードから世界を見る」「教科書から見る歴史の認識」の3つの分科会に日本人学生と、中国や韓国、台湾などを始めとする国からの留学生の双方に参加してもらい、様々なテーマについて議論を交わしました。会議などを企画した経験が全くない私達実行委員にとって、この学生会議は大きな挑戦でもありましたが、無事に終了させることができた今、大きな充実感を感じています。是非多くの九大学生にこのような活動に関心を持っていただきたいと思い、今回私達の活動について内容と動機などを皆さんに紹介したいと思います。(小俵京子)

1. 学生会議をはじめたきっかけ

(ダラ・プスピアルディニ)

「福岡県国際学生会議」の企画に至るまでに、私にはいくつかの学生会議に参加した経験がありました。規模の大きな学生会議では全国色々なところから参加する学生に出会うことができるのでたくさん刺激を受け、それが学生会議後の行動の原動力となりました。しかし規模が大きいだけに、学生会議後参加者はそれぞれの生活に戻り、学生会議の中で培われた「つながり」がいささか活かされていないように感じました。このことがずっと心のどこかで引っかかっており、「福岡県国際学生会議」を仲間と一緒に作りあげるきっかけとなりました。

去年、私は日本人学生とアメリカ人学生がフィールドワークを通してあらゆるテーマについて話し合うと

いう「日米学生会議」に参加しましたが、参加者の中で九州から来ているのは私ひとりだけでした。そのため、学生会議の事前活動や事後活動などに積極的に参加することができませんでした。このことがとても悔しく、心残りでした。日米学生会議で一緒に時間を過ごした仲間は自分にとってとても大事な存在だったため、学生会議後も「みんなと、もっともっと話したい」と思いました。しかし、時間のほかに距離の問題もあってなかなか会えないのが現実です。この悔しい思いが実は「福岡県国際学生会議」の企画を始める動機につながったのです。参加者の募集範囲を福岡県だけに絞れば、学生会議後も参加者は地理的な問題を抱えることなく、強いネットワークを築くことができるだろうし、その結果地元に戻元できるような活動も行うことができると思ったからです。

このような自分の考えに確信を持ったとはいえ、自分の強い思いばかりが先行し、具体的なイメージは漠然としていました。数日間ずっとこのことばかりを悩んでいましたが、仲間に自分の考えを話し、思いを共有せずにはいられませんでした。仲間のみんなに話したことで、周囲からヒントを得ながら自分の考えを少しずつ整理できたような気がします。その後資金的なバックアップなどから、主催者として日本学生支援機構に協力していただき、開催日に向けて仲間とアイデアを出しながら準備を進めていきました。

2. 学生会議当日の感想

第一分科会「地域文化の継承」 (山下琴恵)

私が企画担当した第一分科会では、「地域文化の継承」をテーマに話し合いました。この分科会では「文化とは何か」ということから話し合い、参加者自身の地域の様々な文化を紹介し、地域文化の現状を話しながら、豊かな地域文化を築いていくにはどのようにすればよいかなどを議論しました。当日どのような議論に発展するのか不安もありましたが、呼び出したコーディネータの先生がうまく調整してくださったことも



BLSとその愉快的仲間たちとの出会い

05年度 工学部卒業 ももじ ゆうじろう
百々路 裕二郎

私はBLS (Business Laboratory for Students) に入るまで、入ってからの活動や出会いを通じて3つのことを学んだ。1つは「勇気を出して飛び込んでみる」と、2つ目は「主体的に行動すること」、3つ目は「人とのつながりを大切にすること」である。

私がどのような経緯でBLSに入るようになったのか、BLSでどのような活動を行ったのか、そして何を学んだのかを伝えたい。

まず簡単に、BLSの紹介をしたい。

一言でBLSを説明するなら「志の高い、熱い学生達が集まっている団体」だ。BLSには、所属がばらばらで理系文系の垣根を越えて学生が集まっている。学んでいることや目指す方向はばらばらだが、皆の前向きな姿勢や、認め合う心、志の高さが素晴らしい相乗効果を生み出している。社会人との繋がりや社会人の話を聞くことも、自分の成長には大事である。さらに、志の高い仲間と共に何かを成し遂げたり、議論をしたりしていくことで、自分の人間性という深い部分からの成長を感じることができる。常に刺激し合い、切磋琢磨し、時には助け合い、一緒に騒ぐこともできる。そんな関係を築くことができるのがBLSである。



L T分科会での白熱した議論

私がビジネスに対して興味を持ったのは、大学入学が決まった高校3年生の時である。

私は前期で入学が決まったので、まだ卒業までに時

間があった。高校まで、読書などあまりしなかった。ましてやビジネス書など手に取ったことすらなかった。そんな時、香川県にある某大型書店のビジネス書の棚である本に出会った。『金持ち父さん貧乏父さん』ロバートキヨサキ (著) である。この本を読んだ時、まさに体に電流が走ったような衝撃を受けた。今まで、大学を卒業して、就職するという選択肢しか知らなかった。しかし、この時、会社を立ち上げることも人生の選択肢として付け加えられたのである。

将来、自分で会社を立ち上げることを夢として抱いてきた。しかし、具体的に何をしたいかわからないまま、大学4年生になろうとしていた。4年生になれば、大学院か就職かを選択し、また研究室配属もある。将来への不安と、夢への実現の為に何もしていないという危機感を感じていた。

私は悶々としていた。そんな時、九大の知的財産本部が開いている「起業家広場」というセミナーに参加してみた。私は何か掴まなければいけないと必死だった。起業家広場では、毎回、社会人や大学関係者が講演し、その後、交流の為に懇親会が設けてあった。懇親会の参加者に学生は少なく、特に学部生の姿はめったに見なかった。最初は、社会人だけの懇親会に行く勇気が無く、講演を聞くだけの参加だった。しかし、講演を聞くだけでは自分の本当に知りたい情報を得られていないことに気づいた。そして、数回目の起業家広場で、懇親会にも参加してみた。懇親会では、名刺交換やそれぞれの専門分野に関する話が行われていた。正直、私は萎縮していた。何をきっかけにして社会人に話しかけていたら分からず、自分の名刺も無い。面識の無い人に自分の話をしなければならない状況になって初めて、自分が人に話せるような将来の明確なビジョンを持っていないことに気づいた。また、私は焦りと不安を感じた。

懇親会に参加して3回目の時に、ある人との出会いがあった。その人はBLSの前代表の米田さん。米田さんは「起業家セミナー」という授業の企画スタッフとして一度見たことがあった。「起業家セミナー」とは、学生が自分たちで社会人講師に講演を依頼し、講

演を企画、運営するもので、単位も認定される。私はその人に、今の自分の状況と考えていることを話した。すると、BLSの活動の一つである、「LT(Logical Thinking)分科会」に参加してみてもどうかと言われた。この時に、BLSという団体があることを知った。

BLSの分科会に足を踏み入れる時にも勇気が必要だった。BLSのホームページで調べてみて、何か難しそうなのをやっている団体だという印象を受けたからだ。しかし、私はそれまでに学んだことがある。それは「勇気を出して飛び込んでみる」ことだ。最初に、社会人だらけの懇親会に勇気を出して飛び込んでみて、学んだことだ。もらった名刺の扱い方で怒られたりしたことがあったが、BLSの前代表と出会ったことや、そこでBLSを紹介してもらえたことは、勇気を出して飛び込まないと得られなかったものである。

BLSに入ってみると、そこでの活動は刺激的なもので、自分に取ってとても勉強になった。BLSの主な活動は「分科会」だ。分科会では、みんなで集まって議論をしながら知識を深めていく。分科会は二つある。論理的思考力を鍛える目的の「LT分科会」とあらゆる経営戦略を構築する能力を鍛えるための「経営戦略分科会」である。難しそうだが、皆が勉強する目的、必要性を納得したうえで参加しているので、苦しさは感じなかった。むしろ、自分の本当に必要なことを学ぶ楽しさを感じることができた。

分科会の他にもう一つBLSでの活動があった。それは、ビジネスプランコンテストを企画する目的のプロジェクトだ。最終的には九州大学芸術工学部でのゲーム会社社長二人のトークセッションイベントを開催し、一時プロジェクト中止という結果になった。しかし、この失敗で得るものは大きかった。それが「主体的に行動すること」と、「人とのつながりを大切にすること」だ。このプロジェクトは、福岡のゲーム会社8社が集まった団体「GFF」と共催でコンテスト形式のイベントを行うのが当初の目的であった。このイベントを企画するのに、九大の知的財産本部、GFF、広告代理店の方など関わった。この時、大学関係者や、社会人の方から怒られることもあった。というより、怒られっぱなしだった。企業からお金をもらって、何かをすることの厳しさを味わった。社会人は私たちのことを「学生」としては一目置いてくれていたかもしれない。なぜなら、企業に対して企画を持ちかけ、社長たちの前でプレゼンまでこなしたからだ。提案したイベントも、「おもしろそうだ」と言ってくれた。

しかし、学生は社会の中での信用性は低く、何か技術やコンテンツがあるわけでもないということを強く感じた。また、組織でイベントを企画するうえで、みんなを同じ方向を向かせる難しさと主体的に行動する大切さを肌で感じた。皆が自分で考えて行動して判断しないと、少数の人間だけが動くことになり、大きな負荷がかかる。しかし、イベントを開催してみて、嬉しいこともあった。イベントに参加してくれたお客さんが、「来てみて良かった」と、心から感謝してくれたことだ。そのときのなんとも言えない興奮と満足感は忘れることができない。また、依頼を受けてくれたゲーム会社2社の社長さんにも、「またいつか一緒に仕事が出来たらいいね」と言ってくれたことは嬉しかった。イベントの規模は小さくても、努力して成功したという実績をコツコツ積んでいくことが信用されることにつながっていくのだ。そして、その信用は人のネットワークを通じて広がっていく。社会人と同じ目的のもとで一緒に仕事をしたという繋がりができたことは財産になった。



ゲーム会社2社の社長のトークセッション

BLSでの活動で、世界が広がった。ビジネスの世界を垣間みることもできたし、たった一年間の活動で成長を感じることができた。目標に向かってものがくこと、それはつまり勇気を出して飛び込んでみて、主体的に行動することである。そうすれば、周りの人が助けてくれ、人の繋がりが自分の道を開いてくれる。そのことを学んだ。

BLSホームページ

<http://www.blsnet.org/~kyushu/>

全学教育科目の再履修(2年生)について

高等教育総合開発研究センター

平成18年度(2006年度)からの全学教育科目のカリキュラム変更により、平成17年度(2005年度)まで開講されていた科目が廃止又は科目名が変更となります。

ついでに、廃止された科目(必修)を再履修科目として特別に開講したり、新たに開講される科目を旧科目に読み替えることとなります。

なお、同名の科目については、そのまま認定されます。以下は必修科目、選択必修科目についての説明です。

コア教養科目

旧		新	
区分	科目名	区分	科目名
コア 教養 科目	人間と文化	文系 コア 科目	哲学
	文芸と人間		思想史
	歴史の認識		古典の世界
	異文化の理解		文学
	現代の政治と法		歴史の認識
	現代の社会と経済		歴史と社会
	地球と生命	理系 コア 科目	文化人類学
	数理と情報		人文地理学
	物質の世界		政治学
	教育学概説		法学
	法学入門		社会学
	現代経営		経済学
	科 文系 基礎	生物学	
		地球科学	
		数学	
		情報科学	
		物理学	
		化学	
		教育学入門	
		法の世界	
		経済学入門	

[例] 「哲学」又は「思想史」の単位を修得すれば、「人間と文化」として認定されます。

個別教養科目

旧		新	
区分	科目名	区分	科目名
個別 教養 科目			文系コア科目 理系コア科目 総合科目
	少人数ゼミナールA・B		少人数セミナー
	ラテン語・ ギリシア語・		言語文化古典語科目 (ラテン語・) (古典ギリシア語・)

言語文化科目 I

旧		新	
区分	科目名	区分	科目名
言語 文化 科目	インテンシブ英語演習	言語 文化 基礎 科目	英語 A
	英米言語文化演習		英語
	英米言語文化演習		英語
	総合英語		英語 B
	英語特別演習		英語 B
	スペイン語作文		英語
	スペイン語会話		
	スペイン語講読		スペイン語

* 英語の再履修者は、すべて「英語」を履修

基礎科学科目 I

旧科目	再履修科目開講曜日時限
物理学基礎	火曜日 5限, 水曜日 5限
基礎化学結合論	月曜日 5限, 金曜日 5限
地球科学概論	水曜日 5限
物理学基礎実験 基礎化学実験 基礎生物学実験	各実験ともに夏季休業期間中に集中講義で実施

旧		新	
区分	科目名	区分	科目名
基礎 科学 科目	微分積分概要	共通 基礎 科目	微分積分学
	線形代数概要		線形代数
	力学基礎演習		力学基礎・同演習 A
			力学基礎・同演習 B

その他の基礎科学科目、健康・スポーツ科学科目、情報処理科目の再履修は、同じ科目名か類以の科目名を受講してください。

[例] 微分積分学 A 微分積分学・同演習 A

基礎無機化学 無機物質化学

健康・スポーツ科学実習 健康・スポーツ科学演習

健康・スポーツ科学講義 健康・スポーツ科学講義

健康・スポーツ科学講義

和気藹々のうちになされる自己鍛錬

～九州地区国立大学間合宿共同授業への誘い～

一人の参加学生の独り言のようで決して独り言でない独り言です...合宿共同授業に参加して、僕の学びっぷりは、たくましくなったと思う。参加する前は、例えば、僕は自分が「面白い」と思うから「面白い」と言うのではなく、僕も「面白い」と相槌を打つなら、その場に波風が立たないからということで、僕は「面白い」と言っていた。だから、求めに応じて意見を述べても、その意見を自分の意見として引き受けて踏ん張ってみることができなかった。この意見をもっているのは、僕だけじゃないよねと、逃げ出したい気持ちがあった。この授業に参加した後、そんな僕がどこかに行ってしまったと、自分で自分に勇気づけられるようになっていた。自信のあることなどないけど、僕の自信はどの程度のものを試してみようと、ひるまなくなっていた。事前授業で、同じテーマであっても、互いが注目するところに違いがあるからこそ、テーマをめぐる多視点からの討論になるわけだし、自分なりの視点を明確にして討論すると賛成意見より反対意見からえることが大きいことにも気づいた。自分の意見が変わることが成長なんだと思えるようになった。合宿では、僕らの討論を待たずに、すぐにまとめにかかる奴もいたけど、彼は彼で気のいい奴なんだと思える余裕のようなものがあつた。他者を信頼するとはどういうことかを、体験したように思う。学生が学生の手で創った授業であつたように思えている。



合宿共同授業とは？

本年度で30回を数え、伝統を培ってきた授業です。メインテーマをめぐる事前授業を経て、琉球大学、長崎大学、佐賀大学、福岡教育大学、そして九州大学の5大学の学生が夏季休業中の8月下旬、3泊4日の合宿に臨みます。合宿では、他大学の教員の講義を聴いて討議を行い、その後学生フォーラムを学生主体で企画・運営します。これまでのメインテーマ、学生フォーラムのテーマを下に示します。オリエンテーション(募集)の日時については掲示でお知らせします。なお、九州大学の募集人数は14名です。

	メインテーマ	学生フォーラムテーマ
平成16年度	「学」としての学び	私にとっての教養
平成17年度	現代社会におけるモラル	社会人として必要なモラル

(高等教育総合開発研究センター)

新入生に薦める二冊

おか ざき せい き
岡 崎 晴 輝

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。ぜひ有意義な大学生活を送ってください。そのお役に立てればと考え、真っ先に読んでいただきたい二冊の本を紹介したいと思います。

*

その一つは、『AERA Mook 勉強のやり方がわかる。』（朝日新聞社、税込み1365円）です。この本は「大学での勉強の実際をわかりやすく紹介する」（1頁）ものです。

高校と大学とでは勝手が違い、戸惑っている人も多いのではないのでしょうか。授業もそうで、高校までの授業とはかなり異なっているはず。高校では、先生は懇切丁寧に板書してくれたことでしょう。しかし大学では、ある種の教育的効果を考え、丁寧に板書する教員はほとんどいません。学生は、主体的にノートをとることが求められています。それでは、どのようにノートをとればよいのでしょうか。本書は、授業に合わせてノートのとり方を変えることを提案する一方、次のような参考例を紹介しています。内容のまとめごとにルーズリーフ1枚を使うこと。表面は授業中に書き込むのに使用すること。その際、あとで書き込めるように余白を多めにとること。裏面は復習に使い、ポイントを手短かにまとめ、テスト直前に見直せるようにしておくこと（9頁）。

大学ではゼミナール形式の授業もあり、プレゼンテーション（口頭発表）をしなければなりません。プレゼンテーションにもいろいろな工夫が必要なのですが、なかでも重要なのがハンドアウト（配布資料）の作り方です。いったい、どのようなハンドアウトを作れば、聴衆に伝わりやすくなるのでしょうか。本書は、文章の形式のハンドアウトではなく、要点の箇条書きや表といった形式のハンドアウトを作成することを勧めています。ここで事例を紹介できないのが残念ですが、本書で示されている事例をみれば、どちらのハンドアウトが優れているか、一目瞭然のはずです。



大学ではまた、レポートや論文を課されることも少なくありません（レポート・論文については、小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、税込み714円を参照してください）。高校生のときにレポートや論文を書いた経験のある人もいるでしょうが、ほとんどの人はレポートや論文の書き方に習熟していないはず。しかし、良いレポートや論文を書くためには、幾つかのことを踏まえなければなりません。本書で指摘されている五つのポイントを紹介しましょう（43 - 46頁）。

- 第1条 まず、自分は論文とは何かを知らないという事実に気づき、論文とは何かを学ぼう
- 第2条 論文に書いてはいけないことを知ろう。最低限それを守るだけで論文らしくなる
- 第3条 論文とは論文のかたちをした文章のことだ。「型」を理解して、その型をまもって論文を書こう
- 第4条 問いを立てるにも方法が必要だ。問題意識を持とうとするより、問題意識を捏造する方法を考えよう
- 第5条 論文をいきなり書き下ろすことはできない。アウトラインをつくってそれを育てていこう

これ以外にも、『勉強のやり方がわかる。』には、大学1年生にとって有益な勉強のノウハウが盛りだくさんです。たとえば、大学教員とはどんな人達か、どのように付き合えばよいのか、といったことも書かれています。ここでこれ以上、この本の内容を紹介することはできませんが、この本が大学1年生にとって有益なマニュアルであることは、すでに感じとっていたのではないのでしょうか。この有益なマニュアルを

活用しない手はありません。ぜひこの本を購入して、大学生生活のガイドにしてください。

*

さて、次にお薦めしたいのは、渡部昇一『知的生活の方法』（講談社現代新書、税込み735円）です（本書には、続編である『続 知的生活の方法』講談社現代新書、税込み693円があります）。この本は、マニュアルとは趣を異にしています。たしかに書齋の作り方、時間の使い方、はたまた食事についても論じられているのですが、単なる知的活動のマニュアルではなく、知的生活の勤めです。著者は『続 知的生活の方法』では、漢学者の生活スタイルのなかに、知的生活の一つの理想像をみいだしています。

漢学者は、単に漢文を勉強したという「知的活動」のみではなく、漢学者的な生活を何十年間かやってきたという「知的生活」から生ずる風格があったのである。……そして旧幕時代に学問をするということは、何かを急いで修得するというよりは、一つの生活様式や生活感情——今はやりの言葉でいえばライフ・スタイル——を身につけることであった。なるべく早く何かをマスターしようというあせりはなく、日々、古典的文献を精読し、作詩・作文し、自己の生活の形態を、心の中からしだいに外形に及ぶところまで徐々に形成していったのである。（続、20頁）

こうした漢学者の生活スタイルは、旧制高校的な「教養主義」とは異質なものです。「教養主義」では「一つの理想、一つの古典を選ぶということをせずに、古典と通称されているさまざまの花から、さまざまな蜜をあつめることが教養というものとされた」（唐木順三「現代史への試み」）からです。

著者が力説するのは、自分の古典を繰り返し読むことです。「あなたの古典がないならば、あなたはいくら本を広く、多く読んでも私は読書家とは考えたくない」（67頁）。繰り返し読むことは、読書の質を高めるのに欠かせないということです。「徹底した精読は表現の微細な相違や文章の質の微妙な変化にも敏感に反応する感覚、あるいは趣味を作るのである」（62 - 63頁）。

著者によれば、本を読む際、原則としてメモをとるべきではありません。いちいちメモをとっていたのでは、本を読むこと自体が億劫になりかねません。たし

かに、本を置く空間を確保できていない場合や、専門的な研究に従事する場合は別であり、その場合には情報カードを使用する必要があります（情報カードについては、梅棹忠夫『知的生産の技術』岩波新書、税込み777円を参照してください）。しかしそうでなければ、本を購入して線を引くべきだということです（線の引き方については、客観的に重要なところに青色、客観的に最重要なところに赤色、自分にとって主観的に大切なところに緑色を引く、という「三色ボールペン法」があります。斎藤孝『三色ボールペンで読む日本語』角川文庫、税込み660円を参照してください）。

このように本に線を引くとすると、図書館で借りて済ませるわけにはいきません。当然、買わなければなりません。著者によると、身銭を切ることで、本に対する判断力が確実に向上します。また、本が手許にあれば、読みたいときに取りだせるため、その本の内容を本当に自分のものにしやすくなります。なによりも、時間と労力の節約になります。「時は金なり」ではなく「金は時なり」というわけです。たしかに、本を買えばお金もかさみますし、アパート住まいの場合には本の置き場にも困ることでしょう。しかしそれでも、知的生活者にとっては本を買いつづけることが重要だということです。「本を買いつづけることは、知的生活者の頭脳にとっては、カイコに桑の葉を与えつづけることに匹敵するようにさえ思われる」（92頁）。

違和感を覚える箇所も少なくないのですが、しかし本書は、何度読んでも感銘を受ける名著であるといつてよいでしょう。

*

十分に意を尽くせませんが、ともかく、真っ先にこの二冊を手にとってみてください。今後の大学生生活にとって有益なガイドになってくれること間違いありません。ところで、改めて言うまでもないのですが、大学時代の友人は、その後の人生にとって大きな「財産」になります。テレビ番組やスポーツをめぐって話をするのも大切ですが、読書会を通じて人々の輪が広がっていくという生活も、なかなかよいのではないのでしょうか（読書会の方法については、内田義彦『読書と社会科学』岩波新書、税込み735円を参照してください）。皆さんの大学生生活を充実したものにするために、この拙いブック・レビューが何がしかお役に立てれば幸いです。（法学研究院）



新しい生活を始めるさいの心がけ

—学生相談カウンセラーからのメッセージ—

き 吉
ら 良
やす 安
ゆき 之

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから、九州大学での皆さんの新しい生活が始まります。どんな大学生活が始まるのか、期待もあれば不安もあると思います。六本松キャンパスには学生相談の窓口として「学生生活・修学相談室」がありますので、困ったことやわからないことがあれば、利用してほしいと思います。

新しい生活を始めるさいにどんなことを念頭に置いておいたらいいか、学生相談カウンセラーとして考えることを以下に書きますので、参考にして下さい。

①「早く慣れよう」と焦らなくてもよい

大学というところは、自分から動かないと何も始まらないという面を持っています。新しい生活に慣れるために、自分から積極的に行動することが求められます。しかしその一方で、「まだまだ慣れない」とか「周囲とじっくりしない」というような気持ちも大事にした方がいいと思います。

というのは、「慣れる」という心の作業には、周囲に自分を合わせていく側面とともに、周囲を取捨選択して自分に合った環境を作っていく側面もあるからです。「早く慣れよう」という気持ちが先走って無理をすると、ヘンテコな自分を作り上げてしまい、後でかえって苦労することにもなりかねません。もちろん入学当初は、周りの人と親しくして、一緒に行動する友人などをつくっていくことが大事になりますが、はじめから自然にふるまえるわけではないと思います。少し無理をしている感じ、何かじっくりこない感じは、ほとんどの新入生が感じていることです。むしろ、そのような違和感は自分らしさのあらわれだと考えた方がいいと思います。それを無視せずに、心に抱いておくことが大事だと思います。

いろんな学生の話聞いてみると、新しい生活環境に慣れるのには一年くらいかかるようです。はじめの半年で表面的に慣れて、次の半年でもう少し深く馴染んでいく、というくらいが平均的ではないかと思えます。無理をして「早く慣れよう」と焦らずに、少しずつ

つ慣れていって下さい。

②自分の心の声を聴く

ときどき、自分がどんな感じで新しい生活を過ごしているだろうか、自分に聴いてみるようなつもりになってはどうでしょうか。「緊張して硬くなっている自分」「ちぎこまっている自分」「少し無理をして明るくふるまっている自分」など、いろんな自分を発見できるかもしれません。それは、新しい環境で努力している自分の姿です。ですから、そんな自分が見つかったら、それを嫌ったり否定したりせずに、まずは認めてやりましょう。

次に、本来の自分らしいふるまいを思い出してみよう。「本来の自分は、もっとおしゃべりだ」「もっと、ぼーっとしている」「マイペースで好きなことをしている」などです。それを思い出し、今の自分を少しずつ、それに近づけられたらいいと思います。つまり、本来の（ふだんの）自分を取り戻す方向です。新しい環境に慣れてきたら、だんだん「ふだんの自分」に近づくのが普通だろうと思います。

③過去のつながりを大事にする

新しい生活を始めるさい、すべてが急激に変化するよりも、できるだけなだらかに変化の方がベターです。登山で、急坂を無理して登るよりは、時間がかかってもなだらかに登った方が確実なのと同じです。過去とブツと縁を切って生きるより、過去のいろんなつながりを維持しながら、少しずつ、新しいつながりへと重点を移していく方が自然だと思います。

ですから、たまには以前からの友人に電話をしたりメールを書いたり、実家を離れて一人暮らしを始めた人は時々帰省したりしながら、少しずつ新しい環境に馴染んでいく方がいいのではないのでしょうか。故郷の風景をながめるだけでも、気分はだいぶ落ち着くものです。急激な「変身」よりも、地に足のついた「変化」の方が、確実な成長につながると思います。

④ 試行錯誤が許される期間

新しい生活に慣れていく期間にはメリットもあります。それは、試行錯誤が許されるということです。いろいろと試してみた後でやめても、周囲はかなり、それを許容してくれる筈です。これは、今までとは少し違う自分を発見するチャンスかもしれません。これまで関心があっても行動に移せなかったことを、試してみてもう一度確かめてみましょう。

試行錯誤には二面性があります。いろんな現実を正面から受けとめて真剣に体験してみるということと、そのうちからどれを最終的に選択するかは未定であるということです。真剣に向き合わなければ、どれが自分に合っているかはわからないと思います。真剣にチャレンジすること、しかし決定については身軽に考え、「自分に合わないと思えば、やめてもいい」と考えておくこと。そんなつもりで、試してみてください。

(学生生活・修学相談室 カウンセラー)

— 相談したいときは —

「学生生活・修学相談室受付事務室」(六本松地区本館1階, 3ページ参照)を直接訪ねるか,あるいは電話で相談の申し込みをしてください。常任相談員(カウンセラー)との面接の日時を決めます。

受付電話番号 726-4806 (受付事務 畑山涼子)

受付時間 9:00~17:00 (昼休み 12:00~13:00)

常任相談員の研究室(六本松地区本館1階)を直接訪ねてもかまいません。

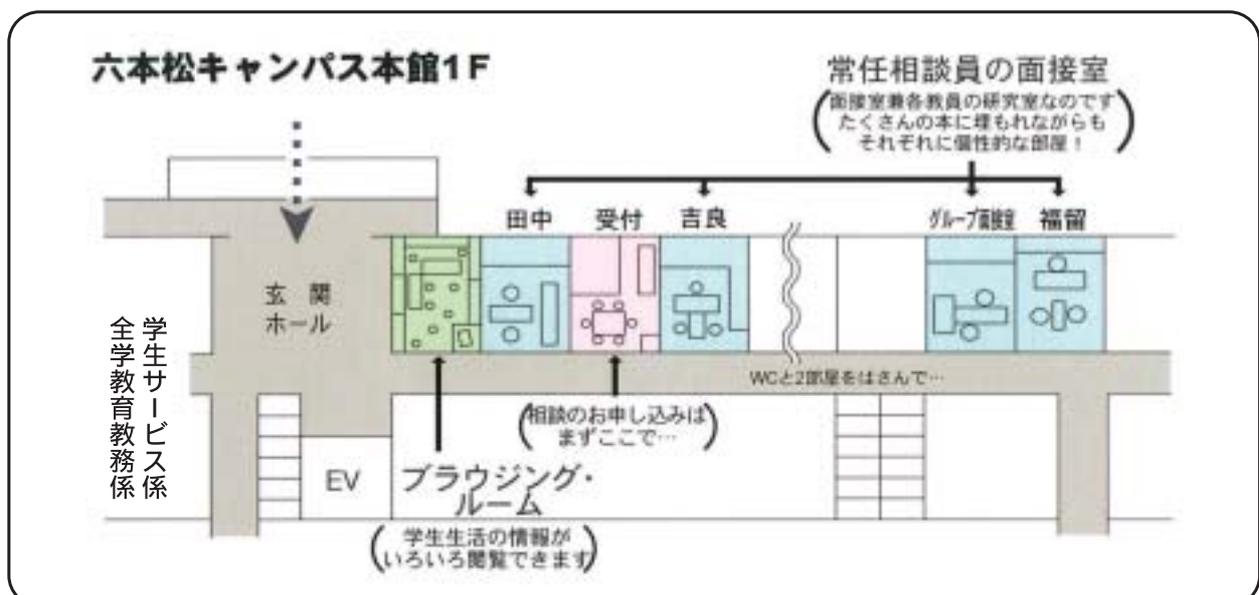
常任相談員(カウンセラー)・電話番号

吉良安之 726-4804 田中健夫 726-4802 福留留美 726-4805

相談にあたるカウンセラーの教員(常任相談員)3名は臨床心理学の専門教員です。相談の秘密には十分な配慮をしています。また,修学上の相談で,各学部や学府の専門的内容の相談(履修の仕方,勉強の仕方,将来の進路など)については,必要に応じて各学部や学府の相談員の先生方を紹介します。

学生生活・修学相談室のホームページ

相談室のホームページを開設しています。常任相談員の教員がそれぞれの活動やメッセージを載せていますので,是非ごらんになってください。アドレス <http://cg.rc.kyushu-u.ac.jp>



健康科学センター健康相談室のご案内

皆さんこんにちは。新しい学年がスタートしましたね。大学生活はいかがですか？ 新入生の皆さんは、期待に胸躍らせていることでしょうか。他の学年の皆さんも1年の始まりに気持ちを新たにしているところでしょうか……。

さて、新しい生活（環境の変化）は、少なからず体調にも影響を及ぼします。もし心身の不調を感じたら、早めに対処しましょう。

九州大学で小中高校の保健室と同じような機能を持つのは、健康科学センター健康相談室です。現在九州大学には、昨年秋にオープンした伊都キャンパスを含め6つのキャンパスがありますが、この6つのキャンパスすべてに健康相談室があります。医師やカウンセラー、保健師・看護師が皆さんの心身のご相談に応じています。ぜひ利用してくださいね。

では、六本松地区健康相談室についてご案内します。

1. 利用案内

利用できる時間

月～金曜日 9：00～17：00

健康相談

内科医や精神科医の診察を受けることができます。

精神科は予約制です。

診察時間は曜日によって異なりますので、相談室入り口の掲示で確認してください。相談内容はどんなことでもかまいません。保健師・看護師が相談にのることもできます。

医療機関の紹介

医師の不在日や相談内容によっては、近医を紹介する場合があります。九大病院など総合病院の受診には、紹介状が必要です。受診希望時はまずご相談ください。

応急処置

校内でのけがに消毒などの応急処置を行います。傷口を水道水できれいに洗ってから来て下さいね。

健康チェック

身長・体重・体脂肪率・血圧などの計測ができます。

健康診断

毎年4月に定期健康診断があります。必ず受けてください。健康診断を受けた人には、健康診断証明書が自動発行されます。

（一部自動発行できない場合もあります）

休養室

急に気分が悪くなった時は、ベッドがありますのでご利用ください。

2. 一人暮らしを始めた方へ

「もしも……」の時、心細くならないように準備しておきましょう。

⊕救急箱

市販されている救急箱のような立派なものではなくてじゅうぶんです。以下のものをそろえて引き出しや箱（百円ショップで販売しているのものなど）に入れておきましょう。

+ 救急箱



- 体温計・解熱鎮痛薬・かぜ薬
- 胃腸薬・応急ばんそうこう etc.

⊕健康保険証・遠隔地保険証

医療機関を受診する際に必要です。早めに保護者の加入保険に所定の手続きをして、手元に持っておきましょう。

健康相談室は、皆さんが健康的で楽しく有意義な大学生生活を送ることができるように支援するところです。どうぞご利用ください。

3. 健康相談室あれこれ

○体組成計

健康相談室の体組成計では、推定骨量や筋肉量、体脂肪率などを測定できます。

体重測定だけでは物足りなく感じている方は、一度体組成を測定してみませんか？

(体組成とは身体を構成する組成成分のことで、脂肪・筋肉・骨・水分などがあります。

体組成計は、脂肪はほとんど電気を通しません。筋肉や水分は電気を通しやすいことから、身体の電気抵抗をはかることで、脂肪や筋肉などの組成を推測するものです。)



○湯たんぽ

ポリエチレン製温度計付きの湯たんぽです。寒い時期に急に具合が悪くなって、休養室(ベッド)で休む学生さんに入れてあげます。

ベビー用なので、ほんわか暖かくて使い心地は最高(?)らしい.....です。



健康・スポーツ科学相談室へ行こう!!

運動して体力をつけたい方、競技力向上を目指している方は健康・スポーツ科学相談室(以下、相談室)へ行ってみましょう。

相談室では、運動を始めるきっかけ作りや、健康のための運動について、また競技のためのトレーニングについて健康科学センターの教員が相談に乗ります。もちろん、無料です。相談室で教員が相談を受け付けている時間もあります。相談受付の時間は学期によって変わりますので、六本松本館1階一番奥の相談室前の掲示をご覧ください。六本松キャンパス以外の方もメールを使うなどして相談してください(hn01@ihs.kyushu-u.ac.jp)。



体育会サークル単位でのトレーニング指導も行っております。また、学外の専門家を招いて講習会を行うこともあります。昨年は敏捷性や水分・栄養補給、オリンピック選手支援に関する講習会を開催し、大変好評でした。ポスターなどを目にしたら、是非参加してみてください。

健康・スポーツ科学相談室長

健康科学センター・助教授 林 直 亨



表紙・裏表紙のコメント

芸術工学部 2年 大木このみ

新一年生へ。

夢を抱いて大学に入った人、なんとなく大学に入った人、嫌々大学に入った人、色々な人がこの大学にいます。色んな人と出会い、関わり合い、関係性の中で変化し、ひとりひとり、自分の人生を描いて行きます。一生懸命何かに打ち込むもよし、思いっきりサボるのもよし、何をやったって、きっとどこかで、役に立つことがあるのだと思います。たぶん、本当に無駄なものなんかないのではないのでしょうか。

自分のやりたいように、せいっぱい大学生活を楽しんでください。



あ と が き

この六本松キャンパスで桜をみることができるのも、今年を含めてあと3回ということになるのでしょう。ごちんまりとして、賑わいがあり、キャンパスを一步出ると思わぬおもしろいお店に出くわすようなこの界限が私はとても好きです。

さて私たち教職員は、毎年はいってくる新入生の皆さんの感覚をどうしても忘れがちです。高校から大学に移るときのことを、「小さくてよく知っている池にいる“大きめの魚”だったのが、急流の中において、ちいさく、ひとりぼっちで、漂流しているような感覚のもとへと激変した」と譬えた人がいます。皆さんはどんな大学生活をふみだしたことでしょうか。どうぞ身近にいる教職員ともいろんな話を交わし、急流の中をしなやかに泳ぎながら、充実した大学生活を送ってってください。(T)

九大を使いこなそう 2	福岡県国際学生会議を終えて
世界・日本 25	山下琴恵 ダラ・プスピアルディニ 小俣京子... 16
ケンブリッジ・ミュンヘンで外国語を学ぼう	BLSとその愉快的仲間たちとの出会い
ケンブリッジ大学英語研修 ...鈴木 右文... 8	百々路裕二郎... 18
ケンブリッジ留学について ...白石 渉... 9	全学教育科目の再履習(2年生)について 20
ワールドカップだ! ドイツだ!	和気藹々のうちになされる自己鍛錬
研修旅行だ!福元 圭太... 9	九州地区国立大学間合宿共同授業への誘い ... 21
新しい世界出雲 渉... 10	新入生に薦める二冊岡崎 晴輝... 22
英語は世界への扉鈴木 右文... 11	新しい生活を始めるさいの心がけ
海外派遣留学制度 12	学生相談カウンセラーからのメッセージ
JTWはサプライズがいっぱい! 郭 韻... 13	吉良 安之... 24
サークル紹介 37	健康科学センター健康相談室のご案内 26
誇らかに 自由を守る篠原 拓... 14	表紙・裏表紙のコメント大木このみ... 28
さぁフリーペーパーを作ろう!! 増原 裕之... 15	あとがき 29

在学生執筆者の学年の表示は、2006年4月1日現在です。

投稿・写真歓迎

編集委員会では radix への投稿、紙面を飾る写真を募集しています。あなたが関わっている様々な活動、六本松地区や「全学教育」にまつわる出来事、六本松の思い出など、六本松や「全学教育」に関するものであれば何でも結構です。

表紙写真も、キャンパスでのもの、旅先でのものをはじめ、あなたの作品、ぜひ紹介したい知り合いの作品など、広く募集しています。応募、推薦の対象は六本松や「全学教育」に関わりのある全ての方です。

radix 学生モニター募集

編集委員会では radix に対する学生の意見・要望を聞くためにモニターを募集しています。また学生編集委員も募集しています。募集は常時行っています。

投稿、写真、学生モニター・編集委員の応募は下記で受け付けます。

編集委員 植田 好道 (数 理 ☎726-4773)	大津 隆広 (言 文 ☎726-4668)	岡崎 晴輝 (法 学 ☎642-4447)
(05年度) 片山 繁樹 (事務室 ☎726-4504)	小山 紘三 (高研セ ☎726-4585)	坂井 貴子 (大学院 ☎642-6371)
杉山 佳生 (健 セ ☎583-7856)	田中 健夫 (高研セ ☎726-4802)	谷村 禎一 (理 学 ☎726-4759)
西野 常夫 (比 文 ☎726-4600)	矢向 正人 (芸 工 ☎553-4549)	
高等教育企画係 (事務室 ☎726-4525・4526)		

r a d i x (ラーディクス)

No. 44 (九州大学全学教育広報)

発行日 2006. 3. 31

発行所 九州大学高等教育総合開発研究センター
〒810-8560 福岡市中央区六本松4-2-1
電話 (092) 726-4525・4526
Fax (092) 726-4530